

# 第2回 議会と語る会

## 質疑応答まとめ

第2回議会と語る会の開催にあたり、多くの市民の皆様にご参加を賜り、また事前質問状ならびに会場での質疑では多数のご意見、ご質問等をお寄せいただき、併せて感謝申し上げます。

今回の質疑応答をまとめさせていただきました。お寄せいただきました内容は、今後の議会活動に反映するよう努め、市政発展へつなげてまいります。

①他の自治体では政務調査費等の報酬を不当に請求する議員がマスコミで取り上げられています。貴議会各位につきましては、どのようなチェック機能を整備しているのでしょうか？レポート提出などは各位全員が毎回行われていますか？

②市長や市職員の言動はもとより、時代から遅れた事業について「見直し」が必要と思われることも必要ですが、貴議会各位につきましては、どのような確認作業を行っていますか？行わないと多額の負債の原因にもなりかねないと思います。予算(市の)は各位どうチェックしていますか？

(50代・男性)

① 平成24年12月から「政務調査費」は「政務活動費」と名称を変更しました。常滑市議会の政務活動費は、毎年度4月1日に会派の所属議員数に9,000円を乗じた額を12ヶ月分支給しています(年額10万8千円/一人当たり)。

視察に行った時は、各会派ごとにレポートを作成・報告をし、インターネット上で公開しています。また市役所1階に設置した市議会情報コーナーでもご覧いただくことが出来ます。ぜひご利用ください。会計報告は年度末に行い、1円単位の領収書を添付しています。

② 常滑市議会は、予算・決算ともに予算委員会、決算特別委員会で全議員(正副議長、監査委員を除く)が出席、審査を行いチェックしています。

常滑市の財政再建についてお聞きします。

平成 22 年度の区長会にて市の財政が大変なこと、そしてその再建について 23 年度より約 7 年計画をたてたので、市民の皆さまにも協力をしてほしい旨説明がありました。(市の負債：約 600 億円：22 年度)

その後 4 年近くたちますが、財政再建はどの程度まで進んだのか具体的な数字で説明していただきたい。(25 年度に同じ質問をしたが、数字での説明をしていただけなかった)

(60 代・男性)

平成 22 年度の区長会で説明があった通り、現在常滑市は「常滑市行財政再生プラン 2011」に基づき、財政再建に取り組んでいます。

常滑市は、豊かな競艇事業に支えられ、これまで高い水準の行政サービスを実施してきました。中部国際空港開港に伴う関連事業の市債償還、世界的な同時不況の影響等により、危機的な財政状況に陥っています。

また、地域医療確保のため、新しい市民病院について平成 27 年度の開院を目指すなど、魅力的で安心・安全なまちづくりを進めることから、今後も必要な財政負担が生じます。

こうした様々な事情を踏まえ、財政構造を立て直し、健全な行財政運営を実現するために、「事業仕分け」の手法も取り入れながら『常滑市行財政再生プラン 2011』を平成 23 年 2 月 21 日付けで策定し、平成 23 年度から 27 年度までの 5 年間で取り組んでいます。

計画では長期債務残高の推移を平成 23 年度 618 億 9,800 万円、平成 24 年度 614 億 3,500 万円、平成 25 年度 610 億 100 万円、平成 26 年度 621 億 4,200 万円、平成 27 年度 593 億 1,700 万円となっています。

実績値の推移と見込みでは、平成 23 年度 614 億 9,200 万円、平成 24 年度 597 億 9,700 万円、平成 25 年度 587 億 1,700 万円、平成 26 年度 636 億 7,700 万円、平成 27 年度 610 億 5,200 万円となっています。

また再生プラン後の見込みですが、平成 28 年度 581 億 1,700 万円、平成 29 年度 552 億 5,600 万円、平成 30 年度 520 億 3,500 万円となっています。

こうした状況の中、市議会におきましても協議会等で再生プランについての説明は何度もあり、取組状況に関して厳しく質疑応答を行い、多くの要望をしているところでもあります。また多くの議員が一般質問の中においても再生プランについて取り上げ、取組状況についてチェックしています。

決算特別委員会では正副議長、監査を除く 15 人の議員で取り組み、各会計決算認定案について細部まで質問し、多くの議会としての要望を議長を通し、行政に行っている所でもあります。

今後とも常滑市行財政再生プラン 2011 が順調に進んでいくよう、さらにチェック体制を強化し、取り組んでまいります。

日本の人口減少が問題となっているが、当市のスローな人口増加と共に、老人人口の増加が悩みの一因となっているが、私は 54 年余市民となり、納税にも努め、まじめな市民として過ごしてきたが、今近隣他都市と比較して市民に対する行政サービスが少ない様に想えてならない。

例えば各市民に対する（お祝い行事）今回初の金婚者に対する市側の対応（市からの各該当者への招待状の発送等）、市民のために使う金品を惜しんではならない。

また農業従事者等が、もう昼頃だと思ふ時、サイレンにより時刻を知り、自宅に戻る。何故に止めにしたのか。経費の削減か。

以上、私の素朴な質問に回答下されば幸いに思い、FAX させて頂きました。

(70 代・男性)

現在常滑市は「常滑市行財政再生プラン 2011」に基づき、財政再建に取り組んでいます。施設の再編、各種イベント・行事の見直し、補助事業等の見直しを行い市民の皆さまにご協力いただいています。また職員給与を大幅に削減するなど、全庁挙げて財政再生に取り組んでおります。

ご質問のありました市民サービスですが、金婚を祝う会につきましては、市老連主催の市老人クラブ大会の式典として行っておりましたが、役員の不足等あり、市老連主催での開催が困難な状況になってきたということで、今年度より市が主体となり、社会福祉協議会の協力と変わらせず、金婚を祝う会を開催するそうです。前年度までは老人クラブ加入者であることが対象となる前提でありましたが、本年度より広報や回覧板で金婚者を募集し、全市民が対象となったとのことであります。

また毎年 9 月に行われる高齢者訪問では、99 歳の時に市より現金 1 万円がお祝いとして渡されます。この件については平成 22 年度まで 100 歳以降も毎年 1 万円お祝いがありましたが、現在では市からのお祝いとしては 99 歳の時 1 度きりとなっています。

一方で、各種ワクチンや検診の助成事業の拡大、中学 3 年生までの医療費負担の拡大などに取り組んでいる所であります。

消防サイレンの件ですが、サイレンが正常に動作するか点検のため、アナログ波を使用し、定時に鳴らしておりましたが、近隣からの苦情が多く、現在は手動で迷惑にならないよう点検を行っています。平成 28 年 5 月からは有事の時のサイレンにおいてもアナログ波の使用が禁じられるため、どのようにサイレンを鳴らしていくのかを現在検討中であります。

また、同報系防災行政無線の導入に向け現在検討中ですが、平成 28 年～30 年の間には本格的な調査を済ませ、導入していきたいと考えています。

市議会といたしましても、決算特別委員会でしっかりと無駄の削減に取り組み、必要な市民サービスについてしっかりと要望を重ねてまいります。

また市民の皆さまの安全のためにも、防災に関しての取組は今後もしっかりと継続するとともに、さらなる強化を図ってまいります。

観光についてです。

私は、やきもの散歩道添いに住んでおり、家の前を多くの観光客が通ります。休日ともなれば、家から車で外出することが困難な状態ですが、どうしても出掛けなければならない時など、非常に困っております。道幅が狭くまた観光客にも車道という認識がないようで、トラブルや危険なことは日常茶飯事です。行政には車道ではない道へのルート変更をお願いしておりますが、いまだかなわぬ状態です。観光客を誘致しておいて、住民を放置する行政のやり方を先生方のお力に変えていただけないでしょうか。事故が起きてからでは遅いのです。このままではいずれ事故が起きましよう。住民の犠牲の上に成り立つ観光でよいはずありません。観光客の安全と住民の安心の確保につとめていただけるよう願います。

(60代・男性)

地元からの要望があるのは承知しておりますが、道幅が狭く車道と歩道を分離するのが困難なのが現状で何か方法はないかと検討をしています。

ルートの変更をたとえばしても、周知を徹底するのは難しいそうです。

以前張り紙などしてみましたが、効果がありませんでした。今後もどの様にしたなら、住民の皆様にご迷惑をかけないようにできるか、看板等の設置を検討し、少しでも改善をしていきたいとの返答をいただきました。

議会としましても今後も行政とともによりよい方法を検討していきたいと思っております。

イオンは何時になったら開店するのでしょうか？他市に先に越されているようですが。

イオンが出店を渋っているなら、違約金をがっばりもらって他の事業を考えてはいかが。このスピード時代にいつ迄もだらだらは歯がゆいばかり、新聞を読んでも周辺の自治体の元気な記事が目につくが常滑市はカヤの外。もっとしっかりして欲しい。

10月7日市議会にも説明会がイオンからありました。

住民説明会は半径2km以内の方が対象で、10月18日（土）市役所2F大会議室で実施されました。起工式は11月21日の予定で来年中には開店の予定ですが、日時はまだ発表できないそうです。

イオンは環境にやさしいをコンセプトにしており、エネルギーの効率化、CO2削減に努め、植樹事業の推進をしているそうです。雇用も地元優先を考え市民の皆様との共生を大切に考えているとのことでした。

こちらに越して来る前に短期間知多市に居ましたが、あの市は周回バスがあり市民に対する行政がしっかり根いていると感じました。当市においては、周回バスなどの計画はないのでしょうか？この先超高齢社会が目前に迫り運転免許証を返納したら・・・住みにくい所へ来たなあ～と後悔させないようお願いします。

(70代・男性)

常滑市にはコミュニティバスがありません。高齢者の多い当市には必要だと思いますが、今までと同じ経営では難しいと思います。私は各公民館、主要店舗、病院、公共施設をなるべく本数多く（20～30分おきくらいには…）利用者数の便を考えて、使いやすいバスを走らせることで利用者を増やすことができると思います。そして主要店舗、各区等、バス停を設置するところに設置料などスポンサーとして負担いただくことで経費のバランスがとれるのではないかと考えます。官民手を取りあって、運営者、バス停設置者、利用者それぞれが負担を負いながら協力して運行することは可能のように思われますが、いかがでしょうか。事前準備が重要で大変だと思いますが、ぜひ前向きに検討していただきたいと思います。

(50代・女性)

公共交通は、通勤、通学、病院、買い物などをはじめとする日常生活の足として大切なものです。

常滑市としては、市民病院が移転することもあり、平成26年4月より公募による市民や関係団体、市民団体が参加した「常滑市公共交通あり方検討会議」を開催してきました。その中では、三和地区を運行する北部バスの充実など具体的な意見も出ました。「常滑市公共交通あり方検討会議」では、10月中を目途に市長に報告書を提出する予定です。この報告を受けて、すぐに取り組むべきことと長期的に取り組むべきことを分けて実行していく考えです。

すぐに取り組むべき問題としては、平成27年5月に開院予定の新市民病院に対応するために、北部バスのコース、停留所、ダイヤなどの改善を検討する必要があります。

長期的には、高齢化問題も視野に入れ、ニーズ把握のうえで、地域公共交通会議（法定協議会）の開催、路線拡充、有料化などを検討していく必要があります。

市議会としても、市全域の公共交通は大きな課題ととらえています。市民の皆様の意見を聞き、より良い公共交通のあり方を行政に訴えてまいります。

#### 《参考として》

現在常滑市には、北部バス（三和地区と市中心部を結ぶ。料金は無料）と、知多乗合株式会社の常滑線（中部国際空港、常滑市民病院の各々から名鉄常滑駅を經由し名鉄知多半田駅まで）、常滑南部線（常滑市民病院、名鉄常滑駅を經由し名鉄上野間駅まで）があります。

#### 質問・提言 1

- ①「議会委員会傍聴基準」を「本会議の傍聴基準」と同等の基準に緩和するよう早急に改定し「開かれた議会、見える議会」を目指すことを提言します。
- ②そのための議会の決意と実現時期を明らかに願いたい。

#### 質問・提言 2

- ①「議員申し合わせ事項」の存在理由を明確に説明願いたい。
- ②すべての「議員申し合わせ事項」をいつまでも常滑市民、有権者に見られるよう公開し「開かれた議会、見える議会」を目指すことを提言します。
- ③常滑市民、有権者の暮らしの向上を目指して、すべての議員が自由闊達に行動できることを保障すべきであり、不条理（一般常識に反すること）な項目について、改定や削除など具体的な改善方法示して頂きたいをお願いします。

(60代・男性)

#### 質問・提言 1

「常滑市議会委員会傍聴基準」では、定員を原則 5 名、傍聴希望者の受付は、委員会開始 1 時間前から 15 分前の間に当該委員会傍聴許可申請書を委員長に提出することになっています。理由としては、委員会室は傍聴席がないために委員会傍聴基準を定め定員を定めています。

「開かれた議会、見える議会」の実現のために、常滑市議会は本年度中に「議会基本条例」を制定する予定です。全国の議会では本会議、委員会等の会議内容を映像や録音によって公開していますが、常滑市議会でも検討し実現を目指しています。

#### 質問・提言 2

「申し合わせ事項」は、議会運営委員会の中で議会の適正な運営を行うために必要な事項を定めている「議会運営委員会申し合わせ事項」があります。

主な内容は、市政に直接関係しない国等に属する陳情や議会の会期、議事、議案の審査方法、議会に関係する条例や規則等に関する項目、開催通知文章等の通知方法や夏季服装の軽装化などです。

「議会運営委員会申し合わせ事項」は、議会事務局にお問い合わせいただければ見ることが出来ます。

「議会運営委員会申し合わせ事項」については、議員の活動を保障するために適宜検討しており、不条理な項目はありません。

政務活動費のレポートを代表が提出するのではなく、全員が提出するのが望ましいと思います。個人で提出することにより、それぞれの着眼点が分かり、より市民の理解を得やすいと思う。常滑駅周辺土地区画整理は年々経たとき、果たして適切なものか疑問が残る。イオン等が出来たときに無駄にならないかと心配する。税金の有効利用として果たして適切なのかをしっかりとチェックしてほしい。時には断念することも必要である。常滑市民病院で来年度の部署で何を要望していくかの計画を立てると思うが、予算が下りたときに要望していた医師がおらず、せつかくの高額医療機器が先生の考え方の違いによりほとんど使われず、廃棄されることがあると聞く。医療機器が何年間稼働し、どれほどの利潤を生んだのか、そのあたりまでチェックしてほしい。名鉄の駅利用に関し、高架になってしまい階段があり利用しにくいと聞く。改善を求む。

会派の視察は先進地で何を学び、どう反映していくのかということが目的であり、会派の視察は会派でレポートをまとめればよいと思う。ある会派のレポート項目は、視察地、日時、目的、視察先での説明者、内容、質疑応答、写真、視察所感、意見交換内容、会派としてどのように反映するかという9項目がある。決して個人が書くというより会派で作成したものだとご理解いただきたい。

経済委員長：駅前整備は最初の計画と大分ずれ込んでいる。現在はスピードを遅らせやっているが、今回の意見を参考にしていきたい。バリアフリーに関して、大野駅の場合、階段で上り下りがあるが、区長と共に何度もお願いに行ったが、名鉄の回答は乗降客数がある一定数必要だとのこと。設置のお願いはしている。

文教委員長：ご意見の件、かつて聞いたことがある。新市民病院移設に際し、医療機器もかなり精査している。各医師と話して、仕様に関してもかなり精査していると聞く。

常滑市の最重要課題である財政、(債務を)いつまでにどこまで減らすのか。なくすのは厳しいと思う。ただ、どうやって減らすのかを確認したい。次に、人材投資について、基幹産業が弱いので、子どもたちを育てて、10年後に住民税を増やすためにどうするのか。そうした視点が大切。子どもたちの教育に関して常滑独自の取り組みを教えてほしい。  
(常滑・男性)

28年度に581億1千7百万円、29年度で552億5千6百万円、30年度で520億3千5百万円まで減っていく。りんくうエリアに様々な企業が入り、人口も増加する中、税収も上げていきたい。また人口の増加に伴う学校関連の費用、病院の費用などもあり、目先のことでなく、長期の視野を持ち取り組んでいきたい。

常滑市の決算審査意見書を見た。気になる所がある。歳出が増えている。借金があるのに歳出が増えている。何が増えているのか、そこをぜひ見て頂きたい。600億円になぜ増えたのか、本質がどこにあるのか見てほしい。人件費が高いのか、小野市に比べると多いと思う。下水道は年間 20~30 億円持ち出ししている。老朽化した橋に使って欲しい。上水道の耐震などに振り当ててほしい。

思いやり感謝の気持ちが大切だ。一番大切なのは保育園。常滑独自の保育園についてどの様にアプローチしていくのか考えてほしい。また携帯電話は多くの問題がある。学力の低下、コミュニケーション不足、北米や欧州、インドは 16 歳以下には持たせていない。日本ではできないと思うが、刈谷市で行った施策をやって欲しい。親が泣いている。携帯は麻薬だと先生が言っている。西小学校の横に基地があり、健康被害が起こる。

常滑市独自の教育ということだが、大切なことだと思う。小学校で常滑が輩出した偉人のことを学ぶということをして学校教育としてやっていると思う。常滑には先端企業の進出もあり、各企業にも協力いただきながら教育に役立てるという手もある。教育委員会とも話し合いながら、子どもたちが常滑のために役立ち、世界に羽ばたける人材となるような教育について話をしていきたい。

要望事項と捉え、担当課へ伝えます。

陳情・請願書の申立書はあるのか。他市には市民会議があるそうだがどう思うか。一人暮らし老人のことをどう考えているか。お年寄りが地域安心して暮らせられるよう、民生委員や家庭相談員がいると思うが、影が薄い。どう思うか。中学校の部活動について、真夏の炎天下での部活に疑問を感じる。長時間練習をどう思うか。帰宅後の自主勉強も大変だと思う。昔の練習は長時間やらなくても強くなれたと主人が言う。  
(女性)

常滑市議会には特にフォーマットはない。独自のレポートでもしっかりと取り扱う。議会ポストに入れて頂ければ速やかに回答する。概ね 2~3 週間、早いものはすぐに返事をするので、そちらもご利用いただきたいと思う。

文教委員長：民生委員の活動がみえないということだが、一人暮らし老人に関して近所の方も把握してもらうことも必要かと思う。民生委員さんたちはよくやってくれているのが実感。訪問等を通して細かい変化にも目を配ってくれている。最近はなり手がなく、ご活躍頂いている皆さんには大変感謝している。中学の部活動だが、成長期の中において非常に大切な活動だと思う。苦しさの中からも得るものがあると思うので、厳しくすることも仕方がない。一方で度が過ぎるのはダメだと思う。不適切指導の話は聞かないが、現状把握に努めたい。



市民病院の産科を廃止する理由は何か。

産科は予定していない。非常に大切なものであり、委員会等で質問した。常滑で生まれる子供がいないというのは寂しい。一方で、医師の確保がなければ参加はできない。確保の努力はかなりしているが、それでもなかなか思うように確保が出来ない。民間の誘致も考えているが、全国的に産科医師がなかなか集まらない。そうした中で苦渋の決断をした。ただスペースを取るのは効率が悪く、いつ医師が来るのか分からない状況の中、経営的にプラスになるリハビリに使用した方が良いという判断になった。

競艇事業の収支が改善し、かつてのように市の財政を支える事業になった気がする。場外舟券売り場付近に行くと事業を妨害する活動を常滑警察署の地域課がやっている。交通事故の心配のない所で市民やボートファンの取り締まりをしている。せつかく来てもらったのに嫌な印象を与えている。交通安全に寄与していない。市長は言いづらいと思うので、議長・副議長・担当委員長がそろって常滑警察署に要請してはどうか。もう一点、カジノ構想があると思うが、常滑市には競艇場があり、国際空港に隣接し、地の利がある。アジアの富裕層を取り込むようなことを市議会で考えて頂きたい。  
(樽水・男性)

心情的には理解はできるが、そもそも交通違反をする方が悪いのではないのでしょうか。分かりにくい事もあるかとは思いますが、土木科と相談しながら一旦停止・優先順位を分かりやすくするように考えていきたい。

中国客の取組ですが、すでにテスト的に行っている。より一層の取り組みをしている。

公共交通のあり方検討委員会は毎回傍聴している。公共交通に関して絶対に必要不可欠だと言っていた。大いに期待している。

武士に二言はない。知多市などのいい見本がある。色々研究をし、交通弱者が買い物や病院に行けるよう、限られた予算の中で進めていくので、調和をとりながらしっかりとご期待に応えていけるように進めていきたい。

事前質問状が編集されており、真意が皆さんに伝わっていない。カットされた部分を述べさせていただく。「トイレのために席を外したら再入室が出来ないとある。」議員だけが勝手に作ったルールに思う。この様なおかしいルールを変えてほしい。先ほどの回答では議会基本条例を作るということだが、このようなことを盛り込むつもりなのか。また議会申し合わせ事項に関して不条理がないとのことだが、議員感覚ではなく一般常識に反することと言っているので、一般申し合わせ事項を公開してほしい。必ず文書で回答してほしい。  
(常滑・男性)

本会議の傍聴は基本自治法の中の公開の中に設けられている。委員会の公開は同法の中に無い。ご指摘のトイレ後の再入室の件ですが、議会でしっかりと話し合ったこともないので、全員で一度話し合ってみたい。申し合わせ事項については一般常識とかけ離れた部分がどの辺なのか理解できない。議会運営がしっかりと行われるようにルールを決めて取組んでいるのは、平成 3 年より積み重なった申し合わせ事項だと理解する。全ての事項は議会運営委員会の了解を得て議会申し合わせ事項として周知していくと承知している。どの様な部分が一般常識と離れているのか、今後ご意見を賜り、時代に即したものに変わっていく努力をしたい。

委員会の傍聴は規定がないと回答されたが、地方自治法の第 115 条の中に議事の公開の原則及び秘密会となっているが、ここに普通の地方公共団体の議会の会議はこれを公開するとはっきり明記してある。

言葉足らずで申し訳ない。議会の会議とは本会議をさし、委員会はなくとも成立する。そういう意味で委員会の規定がないと申した。我々は委員会制度を導入しているので、より詳細なことは委員会でやるという方針である、ご提案いただいた件はしっかりと受け止め取り組んで参りたい。